

# グリーンバンクシステムの取り組み —まちの緑の保存・継承と活用—

〔応募者〕 氏名：(支社長) 間宮 敏明／住所(勤務先)：〒163-1382 東京都新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタワー 18階／勤務先名：独立行政法人都市再生機構 東日本支社／連絡先(勤務先)：応募事務局、技術監理部造園設計チーム 村岡賢二(ムラオカケンジ) TEL(03)5323-2702 FAX(03)5323-2937 Email:muraoka@ur-net.go.jp

●応募理由

グリーンバンクシステムは、独立行政法人都市再生機構（UR 都市機構）の賃貸住宅（UR 賃貸住宅：旧公団住宅）を建替えるにあたって建設当初に植栽され 40 年以上の年月をかけて育まれた豊かな緑を地域の貴重な環境資源としてとらえ、地域景観や記憶の継承、環境負荷の軽減や貴重な緑地の保全を目的に、保存、移植、リサイクル活用を一体的にすすめるもので、緑のストックを活用した地域に貢献する活動として、UR 都市機構が平成 6 年度から全国的に継続して取り組んでおり、賞の目的にふさわしい活動であると考えます。

●作品または活動の概要

- ①事業主体：UR 都市機構  
事業制度等：グリーンバンクシステム  
(建替団地の既存樹木の保存、移植、リサイクルによる総合的な活用計画)
- ②計画概要  
対象団地等：UR 都市機構の建替団地及び新規整備地区

●作品または活動の特色

グリーンバンクシステムは、UR 都市機構が全国的に取り組んでいる活動で、在京地区においても東京都をはじめ千葉県、神奈川県、埼玉県等で取り組まれています。なかでも、当支社が所掌する 23 区外の東京都においては豊かな緑環境が育成されてきた UR 賃貸住宅が多く、数多くの樹木の利活用が成されています。

この活動は、樹木の樹木調査から始まり、シンボルツリーや並木などの景観的な評価、樹勢などの生物学的な評価を行い、土地利用計画や建築・土木計画との調整を行います。調整にあたっては、現地保存を第一に行い、現地保存が困難な場合には他プロジェクトも含めた移植やリサイクルなどの活用方策を検討します。検討にあたっては、樹木の情報を管理し調整会議等を通して情報交換を行うことによりプロジェクト横断的な利活用の検討を行うため、計画的な緑資産の利活用計画を図ることができます。また、この活動には既存樹木などの緑をテーマとしたワークショップなどの市民参加の取り組みも含まれており、地域に根ざした総合的な緑の保全活動が可能になると言えます。

この活動を通じて、「環境にやさしいまちや住まいづくり」に寄与する地域特性を活かした総合的な緑環境形成に取り組んでいると考えています。



(図1) グリーンバンクシステムの概要



(図2) 緑のワークショップの活動

▼グリーンバンクシステムを活用した事例（多摩平の森：東京都日野市）



(写真1) 保存された既存林（多摩平の森） (写真2) 保存されたユリノキ並木

建替後：多摩平の森  
入居：平成14年3月～平成18年3月／戸数：945戸  
建替前：多摩平団地  
入居：昭和33年10月～昭和35年9月／戸数：2,792戸

▼グリーンバンクシステムを活用した事例（グリーンヒルズ東久留米：東京都東久留米市）



(写真5) 保存された既存林（奥）と移植樹木を活用した植栽（手前） (写真6) 既存樹木をリサイクル活用したベンチと樹木チップを活用した園路（既存林内）

建替後：グリーンヒルズ東久留米  
入居：平成17年9月／戸数：412戸  
建替前：東久留米団地  
入居：昭和37年／戸数：1,240戸

▼グリーンバンクシステムを活用した事例（サンヴァリエ桜堤：東京都武蔵野市）



(写真3) 保存・移植樹木を活用した団地内公園（仙川水辺公園） (写真4) 保存されたサクラ並木（ソメイヨシノ）

建替後：サンヴァリエ桜堤  
入居：平成11年10月～平成17年12月／戸数：1,120戸  
建替前：桜堤団地  
入居：昭和34年／戸数：1,829戸

グリーンバンクシステムによる既存樹木の利活用状況(高木) (過去5か年度)

年度	全樹木(A) (保存・移植含む) (本)	保存・移植樹木(B)			保存・移植率(B/A) (%)	グリーンバンクシステム の取り組み事例
		保存樹木 (本)	移植樹木 (本)	計 (本)		
平成13年度	1,544	86	429	515	33.4%	青戸第一団地 金町団地 久米川団地 桜堤団地 新川団地 多摩平団地 西新井第二団地 東伏見団地 東久留米団地 ひばりが丘団地 府中団地 三鷹台団地 武蔵野緑町団地 牟礼団地 他
平成14年度	1,825	91	287	378	20.7%	
平成15年度	4,619	690	471	1,161	25.1%	
平成16年度	440	169	81	250	56.8%	
平成17年度	375	53	154	207	55.2%	
合計	8,803	1,089	1,422	2,511	28.5%	

※UR都市機構の造園工事における全樹木(保存、移植含む)に対する保存・移植樹木の割合  
※平成13～15年度は都内全域、平成16～17年度は23区を除く都内全域(都下地域)での集計

(参考)UR都市機構のグリーンバンクシステムの取り組み(平成17年度 全国)

平成17年度	3,965	228	785	1,013	25.5%
--------	-------	-----	-----	-------	-------